人口知能レポート

「A*アルゴリズムによる8パズル問題への適用とその考察」

5CS 48番 藤田 魁

1. アルゴリズムの説明

図にアルゴリズムフローチャートを示す。

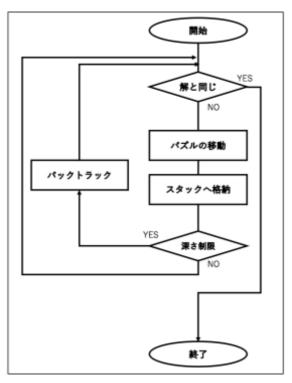


図1. アルゴリズムのフローチャート

今回作成したプログラムは完全に8パズルを解くことができない。 初期状態にもよるが解くことができる状態も存在する。

①に示した8パズルの状態は今回課題で与えられた8パズル問題である。

初期状態にもよるが解くことができる状態も存在する。②に示すのは実際に解くことが可能な8パズルの初期状態である

[2][3][5] [1][0][4] [7][8][6]

2

今回はこの②の配列を実行するものとする。

2. 実行環境

- (1). MacBook macOS Sierra ver.10.12.6
- (2). Xcode ver. 8.2.1
- (3). 言語 C/C++
- (4). テキストエディタ「Atom」

3. 実行結果

下に示すのは実際に実行した際に取得できる実行結果の例である。

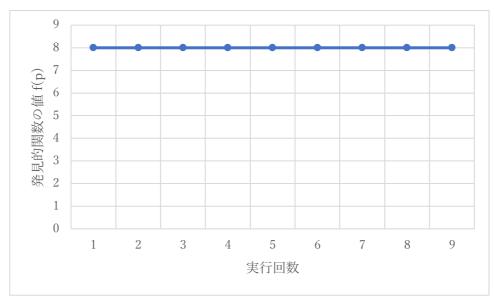


図 2. 発見的関数の推移

実行 A*アルゴリズムを実行したが変化が見られなかった。

```
[2][0][3]
[1][4][5]
[7][8][6]
f(p) = 8 g(p) = 3 h(p) = 5
[0][2][3]
[1][4][5]
[7][8][6]
f(p) = 8 g(p) = 4 h(p) = 4
[1][2][3]
[0][4][5]
[7][8][6]
f(p) = 8 g(p) = 5 h(p) = 3
[1][2][3]
[4][0][5]
[7][8][6]
f(p) = 8 g(p) = 6 h(p) = 2
[1][2][3]
[4][5][0]
[7][8][6]
f(p) = 8 g(p) = 7 h(p) = 1
[1][2][3]
[4][5][6]
[7][8][0]
f(p) = 7 g(p) = 7 h(p) = 0
       図3. プログラム出力結果
```

4. 感想

あと、もう少しでプログラムの全てが完成したと思う。次は完成させたいと 思う。